

幼少期からの長期ステロイド使用と複数回の再燃・休職を経て社会復帰した成人アトピーの経過 (36 歳男性)

症例 ID：001-30-YJ | 記録日：2016 年 4 月 6 日

1. 診断・治療前経過

物心がついた頃から全身のかゆみがあり、18 歳頃まで複数の医療機関でステロイド外用薬や内服薬を使用しました。一時的に症状が目立たなくなっても再燃し、皮膚が薄くなり、全身の浸出液、色調変化、強いかゆみと痛み、不眠が続きました。18 歳頃、知人の紹介で松本医院を受診され、それまで使用していたステロイドを中止して治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期から 18 歳頃まで、ステロイド外用薬と内服薬を使用しました。23 歳頃には市販のステロイド外用薬を約 1 年間再使用しました。
製品名	複数使用しましたが、詳細は不明です。市販薬としてムヒを使用しました。
強度	不明です。
使用期間	幼少期から 18 歳頃まで長期使用し、23 歳頃に約 1 年間再使用しました。
中止時期	18 歳頃に中止し、23 歳頃の再使用後に再び中止しました。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。治療中に一時再使用しましたが、その後は中止しました。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～18 歳頃	来院前	ステロイド外用薬・内服薬を使用し、全身症状と不眠が続きました。
18 歳頃	治療開始	松本医院を受診し、ステロイドを中止して治療を開始しました。
開始後約 6 か月	最初のピーク	全身の皮膚が崩れ、浸出液、強いかゆみと痛みが続きました。
開始約 6 か月	生活の変化	浸出液が出なくなり、外出できるようになりました。
開始約 1 年	社会復帰	夜に眠れるようになり、友人との外出と仕事への復帰が可能となりました。
23 歳頃	再使用と再燃	市販のステロイド外用薬を約 1 年間使用した後、症状が再燃し、約 6 か月休職しました。
その後	生活再建	仕事へ復帰し、結婚して 2 人の子どもを育てる生活となりました。
33～35 歳頃	再度の症状	ヘルペス症状を繰り返し、35 歳時には全身症状のため約 1 年半休職しました。
36 歳時	長期経過	治療を継続し、家族や職場の支援を受けながら日常生活を取り戻しました。

4. ピーク時期

ピークは、18 歳頃の治療開始後約 6 か月に全身の皮膚が崩れて浸出液、強いかゆみと痛み、不眠が続いた時期と、35 歳時に全身症状で約 1 年半休職した時期です。

5. 困りごと

- 全身の浸出液、強いかゆみと痛みで夜に眠れませんでした。
- 衣類や寝具の洗濯、煎じ薬と入浴の準備に家族の支援が必要でした。
- 再燃により約 6 か月と約 1 年半の休職を経験しました。
- 長期経過の中で複数回の症状悪化を経験しました。

7. 経過のまとめ

18 歳頃の治療開始後は、約 6 か月間にわたり全身の強い症状が続きましたが、その後は浸出液が止まり、約 1 年後には友人との外出と仕事への復帰が可能となりました。

その後も再燃と休職を経験しましたが、治療を継続して仕事へ復帰し、結婚、子育てを含む日常生活を送れるようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。